

平成23年度

# 沿岸地域被災者支援プロジェクトチーム 活動報告書の概要について

平成23年度に沿岸地域被災者支援プロジェクトチームが行った活動について、皆さんにお知らせします。

問い合わせ 沿岸地域被災者支援室  
内線 3595・3596

## プロジェクトチームの設置

平成23年3月11日の東日本大震災発生後、市は災害対策本部や沿岸地域被災者支援本部を立ち上げ、支援業務を行っていましたが、北上市への避難者支援の一元化や沿岸地域の復興に向けた体制整備が必要になったことから、5月23日、沿岸地域被災者支援プロジェクトチームを設置しました。

## 支援活動の基盤づくり

未曾有の大災害の中、効果的な支援活動をするためには、さまざまな団体が枠組みを超え、震災被災者の支援という共通目的に対し同じ立場で参画し、活動するための仕組みが必要でした。

そのため、被災者支援に対し課題を持つ市民団体などと連携して、8月3日に「きたかみ復興支援協働体」を設立しました。

協働体は県の「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」補助金を活用し、避難者の交流・支援拠点、支援団体の活動拠点、専門家が沿岸復



復興ステーション開所式に出席した高橋市長(右から3番目)ら運営協働体構成団体と協力団体の代表

興支援を行う際の活動拠点として、「きたかみ震災復興ステーション」を9月1日、防災の日に設置しました。  
このステーションは日本都市計画学会や企業のサポートを受けながら、運営されています。

## 活動状況

1 避難者および被災者数の把握

2 避難者データベース整備

避難者情報(相談記録、支援物資配布状況など)をデータベースで一元管理を行いました。

3 被災者からの相談業務  
▽窓口相談：延べ760件

相談内訳 住宅109件(民間賃貸借上住宅81件、雇用促進住宅28件)、義援金420件、生活再建支援金42件、応急修理4件、災害援護資金3件、その他182件  
※電話相談などは窓口相談と同数程度ありました。

4 一次移送事業

沿岸地域の被災者を、市内10カ所の宿泊施設に受け入れました。

▽受け入れ人数：251人

被災地での仮設住宅完成に伴い、帰郷を支援しました。

▽バス運行回数：5回

▽利用者数：11人

5 住宅入居支援(民間賃貸住宅、雇用促進住宅の受け入れ)

▽民間賃貸借上住宅申込件数：141件

▽雇用促進住宅申込件数：83件(うち8件は退去申し込み)

6 国県義援金・市見舞金の支給事務

▽国県義援金：436世帯4億1512万6千円

▽北上市見舞金：420世帯2297万円

7 災害弔慰金支給事務

▽件数：4件1750万円

8 災害援護資金貸付事務

被害状況に応じて、市が150万円から350万円の範囲での貸し付けをしました。  
▽貸付件数：3件420万円

9 被災者生活再建支援金受付事務  
県が支給する支援金の受け付けを行いました。

▽受付件数：50件(36世帯5987万5千円分)

10 住宅応急修理事務(災害救助法)  
住宅が半壊以上の被災を受けた、家屋を応急的に修繕することで避難所生活を解消できる人が対象。

▽応急修理事務：全壊1件、半壊3件

▽修理金額：205万5285円

11 被服給与業務(災害救助法)  
市内宿泊施設に滞在する避難者の暑さ対策のため、夏物衣料品の現物給与を行いました。

▽人数：41人

▽被服給与経費：35万2682円

### 12 日用品配布業務

NPO法人ピースウィンズジャパンから被災者に提供された日用品セット(布団セット、台所用品セットなど)の配布業務を行いました。

▽人数：180世帯408人分

### 13 日赤家電の受け付け業務

▽件数：199世帯分

### 14 扇風機配布事業

民間賃貸住宅と比較して、空調設備に劣る雇用促進住宅入居者への暑さ対策のため、株式会社東芝から寄贈いただいた扇風機を配布しました。  
▽対象：56世帯(基準日6月20日)

### 15 網戸設置事業

民間賃貸住宅と比較して、空調設備に劣る雇用促進住宅入居者への暑さ対策のため、市への義援金を活用して網戸の設置を行いました。

▽件数：61戸網戸195枚

### 16 商品券による夏物用品給付事業

家財などを失い支援金などの支給が進まない状況の中、夏の避難生活において、夏物衣服などが必要となったため、夏物用品を給付する目的で、市への義援金を活用して商品券を配付しました。  
▽件数：228世帯491人

### 17 暖房器具配布事業

避難者に対する冬の寒さ対策のため、企業からの義援金を活用して購入した暖房器具や、企業や自治体から寄贈を受けた暖房器具の配付を行いました。  
▽件数：212世帯

### 18 支援物資配布業務

▽受け入れ件数：49件(個人34件、法人15件)  
▽常設配布件数：延べ736件1882人(5月23日～11月11日)

### ▽臨時配布：自転車配布23台・50台(大槌町に寄贈)。冬

物物資の配布165件1170点

### 19 避難者の見守り活動

避難者の生活や心情などの変化を把握し、必要とされる支援を行うため、見守り活動を行いました。

▽対象：278世帯593人

### 20 コミュニティ形成支援業務

避難者の孤独対策などを目的に、自治会活動などのコミュニティ活動を支援しました。

▽対象：274世帯591人(3月末)

▽内容：市内各イベントへの参加案内(絆便の利用)、市内各イベントへの移動支援など、ふるさとカフェなどの交流会を開催(2月末まで35回開催延べ人数251人)、同郷人会などへの活動支援



同郷の人たちが交流することができるふるさとカフェ

### 21 災害救助費申請・精算業務

### 22 沿岸被災地仮設住宅運営支援事業

沿岸被災地の雇用の確保、仮設住宅団地におけるコミュニティの醸成と生活課題の解決を支援するため、大船渡市と大槌町で、地元住民を雇用し、仮設住宅団地内に常設する支援員を配置しました。

▽大船渡市：37団地に96人の支援員

▽大槌町：48団地101人の支援員

### 23 広報(報道発表)業務

東日本大震災関連の情報を取りまとめ、毎月の定例記者会見で資料を発表しました。

### 24 ボランティアバス活動補助

被災地の復旧・復興につながるボランティア活動を行う市民団体に対し、移動に必要なバス費用を支援しました。  
▽金額：50万円

### 25 灯油助成券の交付

北上和賀ロータリークラブより寄贈を受けた灯油助成券を避難者宅に配布。引き取りが困難な世帯について、配達支援を行いました。

▽内容：灯油など7786・11リットルを給油。13世帯に配達

### 26 東日本大震災追悼式

東日本大震災における犠牲者に対する追悼を行うとともに、甚大な被害のある自治体への復興支援の決意表明とするため、3月11日に市民、避難者、関係者が参加のもと、追悼式を実施しました。



多くの市民や避難者が参加し、復興への誓いを新たにしました

※この報告書は3月31日時点で取りまとめたものです。  
※沿岸地域被災者支援プロジェクトチームは組織再編により、平成24年度から沿岸地域被災者支援室に変更になっています。